

# 平成27年9月定例会

## 決算審査特別委員会設置

# 平成26年度 歳入歳出決算認定について

一般会計 歳入**193**億円、歳出**185**億円

特別会計 歳入**125**億円、歳出**134**億円

## 使途を審査

平成26年度小郡市一般会計ならびに特別会計歳入歳出決算認定については、議員全員で構成する決算審査特別委員会を設置し、9月4日から4日間にわたり質疑ならびに委員間討議を経て採決を行った結果、歳入歳出決算認定8件については、いずれも全会一致ならびに賛成多数をもって認定されました。 ※決算概要は「広報おごおり」10月号をご参照ください。

◎担当部課長・係長からの説明を受け質疑を行い、さらに委員間討議として取り上げた主な課題は次のとおりです。

### 一般会計審査

#### ■ 待機児童の解消

待機児童が本年3月1日の時点で47名となっている事からも十分な施策成果が得られていないとの意見が出されました。担当課として保育所の定員増や乳児保育園の新設に向けて取り組みを進めているものの、待機児童解消に向けて一層の努力が必要と要す。

#### ■ 老人クラブの活性化

任意団体である老人クラブの自立は大切ではありますが、高齢化が進む中、高齢者の皆様が地域の中で結集され、生き甲斐を見つけて頂くために、行政の取り組み方も反省しながら情報提供等を含めた施策で活動のサポートを進めてもらうことが必要と要す。

#### ■ 観光行政の推進

小郡市観光協会とNPO法人小郡の歴史を守る会との連携が十分とは言えません。例えば恋人の聖地プロ

ジェクトについては担当部署が十分に連携し、遺跡や文化財を含めた一体的な観光を進めていく施策が必要です。

#### ■ まちづくり協議会の活動

まちづくり協議会には、行政が設置をお願いした4つの必置部会の他に各協議会で独自の部会を立ち上げられて活動が進んでいます。一方で、従来の行政区としての活動と重なるような部分や地域による活動内容の相違も出始めており、補助金の支出等を考える中で今後の運営方針を明確にしていく事が必要との指摘がありました。この件につきましては議会としてもあらためて協議し、執行部に要請することとしました。



**特別会計審査**

■ 下水道料金の徴収

上下水道料金は現在別々の徴収と なっていますが、収納率を上げるた めに一括徴収をすべきとの質疑があ りました。答弁は現在試行の段階で 研究中だとのことでしたが、議会で は5年前から申し入れをしています のでいつまでに実施するかの期限を 示す必要があります。

■ 国民健康保険赤字解消

単年度3千万円、累積で8億2千 万円赤字となっています。一般財 源からの繰り入れも行われましたが、 国民健康保険制度が3年後を目標に 県単位で広域化される事もあり、赤 字解消について具体的な方針と対策 を早急に示す必要があります。

**一般会計と特別会計に 共通する課題**

審査資料となる施策報告書の記載 について施策の評価の部分に昨年と

同じ記述が多く見受けられました。

また、施策の効果があつたという 評価が多かったものの、プランを立 て実行し、チェックを行い課題があ ればさらに行動を起こすというPD CAサイクルの考え方からすれば、 課題が示されておらず、全て目的が 達成された施策評価となっています。 決算審査ではありますが、今後の課 題や方向性についての記述も考慮さ れる必要があります。

また、今回指摘した内容の多くは 議会として再三にわたり改善を求め てきた内容でもあり、執行部には重 ねて改善に向けた具体的な施策の実 施を要請しました。



小郡市議会・市民との意見交換会

昨年行われた座談会方式 の意見交換会



すでに、ポスター、回覧、折込みチラシ等でお知らせしておりますように、小郡市議会と市民との意見交換会を開催します。事前申し込みは不要ですので直接会場にお越しください。たくさんの皆様のご参加をお待ちしております。

座談会テーマ

- ・総務文教常任委員会・・・まさかに備えて「防災どげんするかい」
- ・保健福祉常任委員会・・・高齢者が安心できるまちづくりについて
- ・都市経済常任委員会・・・環境問題「ごみ減量について」

日	時	会 場
11月5日 (木)	19時～21時	あすてらす……………視聴覚室
		立石校区公民館……………会議室1、2、3
11月6日 (金)		人権教育啓発センター…大集会室
		東野校区公民館……………ホール
11月7日 (土)	14時～16時	三国校区公民館……………ホール1、2
		希みが丘公民館……………集会室

◎8月17日（月）、総務文教常任委員会  
の企画により仮庁舎にて研修  
会を行いました。

講演

### 「子どもの置かれた 状況について」

NPO法人子どもNPOセンター福岡

事務局長 宮本智子氏

子どもの貧困という社会問題が近年大きく取り上げられるようになりました。家庭の経済的な貧困だけでなく、社会的情報を得る機会が少な  
いために、子ども達の生活や家庭環境の改善が難しいという負の連鎖が生み出されていることなど、データに基づいた説明を受け、今後の議会活動に大変参考になりました。



## 議員全員参加の研修会



◎8月24日（月）、北九州市にて開  
催された第12回福岡県市議会議長  
会議員研修会に参加しました。

講演①

### 「地方財政の現状と課題」

全国市議会議長会政務第一部部长

澤田淳一氏

平成27年6月30日に閣議決定され  
た経済財政運営と改革の基本方針  
（骨太方針）の抜粋を中心として当  
日配布された資料に基づき最新の情  
報の詳細な解説が行われました。



講演②

### 「地方創生に向けた 地域の活性化」

日本経済研究所専務理事・地域未来  
研究センター長 鍋山徹氏

地方創生を進めるための「戦略・

戦術」として地域産業、まちづくり、  
ひとつづくりに企業や自治体、教育機  
関などがそれぞれ協力し、また地域  
外から力ネを獲得できる産業と地域  
内の需要によって成り立つ産業の比  
率から地域の産業特徴を捉えていく  
ことも必要であると地方創生のポイ  
ントを分かりやすく説明され今後の  
議会活動に大変参考になりました。